

年2回(1月・7月)発行

シルバー
連合会

いしかわ

第55号

令和8年1月発行



写真：石川県シルバー人材センター主催 グラウンド・ゴルフ大会 (P.4)

目 次

シルバー連合会いしかわ 2026. 1 第55号

ごあいさつ

会長	林 充男	1
石川県知事	馳 浩	2
石川労働局長	八木 健一	2

令和7年度の主要事業（令和7年7月～12月実施分）

専門委員会	3
労働者派遣業務担当者会議	3
石川労働局等への要望	3
グラウンド・ゴルフ大会	4
第2回県内各センター事務局長会議	5
普及啓発促進月間活動	5
経理研修会	5
運転技能講習	6
安全就業担当職員会議	6
高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）	7・8
センター支援事業（連合会の独自事業）	8
衛生委員会 掲示板	9
県内の各シルバー人材センターの活動紹介	10～15



ごあいさつ

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

会長 林 充男

あけましておめでとうございます。

新春を迎える、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当連合会の運営及び各種事業につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国は人口減少と少子高齢化が一層進む中、地域社会の担い手として高齢者の活躍がますます重要になっております。

そうした中、一昨年に発生いたしました能登半島地震と奥能登豪雨以降、被災地域における復旧・復興に向けた歩みは確実に進んでおりますが、被災地域のセンターは依然として被災前の実績まで事業が回復しているとは言えない状況にあります。

本格的な事業回復にはまだ相当の時間がかかることが予想されますが、これからもシルバー事業関係者挙げての支援が必要であり、当連合会といたしましても、一層の支援に取り組んでまいります。

喫緊の課題である減少傾向にある会員の確保・拡大につきましては、退会の抑制を図りながら、女性会員の増加に特に重点を置いて取り組んでまいります。

また、会員の皆様が培われた知識と経験を活かし、健康で生きがいのある生活を送っていただけるよう、各センターと連携を深めながら、安心して働く環境づくりに努めるとともに、様々な活動を通じて、地域とのつながりを大切にし、行政、企業、関係団体などと協働することで、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

結びにあたり、本年も関係機関の皆様にはご指導、ご支援を賜りますよう、併せて会員皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶をいたします。

謹 賀 新 年

会長	林 充男	公益社団法人金沢市シルバー人材センター理事長
副会長	竹田 由喜夫	公益社団法人白山市シルバー人材センター理事長
副会長	藤 勝好	公益社団法人七尾市シルバー人材センター理事長
理事	南 忠治	公益社団法人能美市シルバー人材センター理事長
理事	宮崎 譲	公益社団法人加賀市シルバー人材センター理事長
理事	越田 幸宏	公益社団法人小松市シルバー人材センター理事長
理事	中山 由紀夫	公益社団法人輪島市シルバー人材センター理事長
理事	福井 清久	公益社団法人中能登町シルバー人材センター理事長
理事	山崎 一郎	公益財団法人石川県老人クラブ連合会常務理事兼事務局長
監事	村田 善紀	公益社団法人津幡町シルバー人材センター理事長
監事	池水 龍一	さわやか税理士法人池水公認会計士事務所所長
専務理事	田中 幹樹	公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会事務局長
職員	一同	

ごあいさつ



石川県知事
馳 浩

令和8年の新春を迎え、皆様には、謹んでお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

県政史上未曾有の大災害となった令和六年能登半島地震の発生から二年、令和六年奥能登豪雨からは一年余りが経過しました。これまで皆様からいただいた多大なるご支援に対して、改めて御礼申し上げます。

さて、県では、働く意欲のある高齢者の就業を促進することが大変重要であると考えており、日頃から高齢者に対し、その能力を十分に活かして活躍できる機会をご提供いただいているシルバー人材センターが果たす役割の重要性や寄せられる期待はますます増しております。

令和6年10月に活動を開始した能登復興推進隊につきましても、シルバー人材センターの皆様を主体として、1,100名を超える方にご登録いただき、応急仮設住宅周辺の除草・清掃業務など、被災市町等から依頼された復興に資する公共的な業務を多数担っていただいております。依頼元の被災市町等から多くの感謝の声が寄せられており、復興の推進と被災地域の盛り上げにご尽力いただいていることに対し、深く感謝申し上げます。

県といたしましても、高齢者の皆様がその能力や経験を活かして働くことができるよう、いしかわ就職・定住サポートセンター（I L A C）内に設置した「高齢者ジョブサポート石川」にて、就職支援講座や企業説明会、インターンシップ（職場体験）といった高齢者の雇用・就業促進に取り組むとともに、シルバー人材センター事業につきましても、今後ともしっかり支援させていただくことで、社会の活力を維持し、持続的な成長に繋げてまいりたいと考えております。

結びに、この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



石川労働局長
八木 健一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、石川労働局の行政運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ハローワーク、労働基準監督署、石川労働局一丸となって、令和六年能登半島地震及び奥能登豪雨災害の被災者に寄り添い、各種支援の取組を進め、特に、能登地域では、引き続き、産業雇用安定助成金による在籍型出向を通じた雇用の維持・継続などを支援するほか、離職者への雇用保険の支給やきめ細やかな再就職支援を行って参ります。また、復旧・復興工事など、作業の安全・衛生の確保など進捗状況に応じた課題にも取り組むほか、県、市町及び関係団体と連携することで、能登地域のさらなる発展を期待しています。

一方、最近の県内の雇用情勢は、能登半島地震及び奥能登豪雨の影響が一部残ってはいるものの、有効求人倍率は継続して1.50倍を上回るなど、あらゆる産業で人手不足感が強くなっています。

人手不足の解消に留まらず、経済社会の活力を維持・向上させるためにも、健康で働く意欲のある高年齢者が、年齢に関わりなく、これまで培った熟練した技能や豊かな経験を十分に発揮し、活躍できる生涯現役社会を実現していくことが今後ますます重要となっております。

シルバー人材センターは、多様な社会参加や生活支援を実現させる場として、また、健康づくりや生き甲斐づくりの場として、とても意義のあるものです。また、会員の皆様がいきいきと就業されることが、地域社会の活性化にも大きく貢献しているところです。

石川労働局では、今後も貴連合会と連携を図りながら、シルバー人材事業の発展のために、必要な支援を行っていきますので、引き続き県、市町や、労働局と密接な連携を図っていただきますようお願いします。

結びに、貴連合会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍・ご健勝をご祈念申し上げて、年頭のご挨拶といたします。

令和7年度の主要事業 (令和7年7月~12月実施分)

専門委員会

• 8月19日(火)・26日(火)・28日(木)〈連合会会議室〉

連合会に設置している就業開拓、安全・適正就業、交流研修、普及啓発の4つの専門委員会を開催しました。各専門委員会では、今回新たに就任した委員が紹介され、林会長のあいさつに続き、各委員会の委員長の議事進行により、活発な協議が行われました。

【各専門委員会の審議内容】

- (1) 令和6年度事業実施状況について
- (2) 令和7年度事業計画について
- (3) センターからの検討・要望事項について



【8/19 就業開拓推進専門委員会】



【8/26 安全・適正就業推進専門委員会】



【8/26 交流研修専門委員会】



【8/28 普及啓発推進専門委員会】

労働者派遣業務担当者会議

• 8月27日(水)〈石川県女性センター〉

県内各センターの派遣業務担当者と連合会職員合わせて30名が参加し、労働者派遣業務担当者会議を開催しました。

はじめに、石川労働局職業安定部の春木由美需給調整事業室長から労働者派遣事業の適正な運営についてご説明をいただきました。その後、連合会事務局から労働者派遣業務の運営及び労災事務についての説明と業務運営に係る意見交換が行われました。



石川労働局職業安定部
需給調整事業室長
春木由美 氏



石川労働局等への要望

• 8月29日(金)

令和7年度全国シルバー人材センター事業協会総会の決議事項に基づき、シルバー人材センター活動への支援要請を行いました。林充男会長、竹田由喜夫、藤勝好の両副会長、田中幹樹事務局長が、石川労働局、石川県庁、石川県議会、自由民主党石川県支部連合会、石川県市長会、石川県町長会を訪問しました。訪問先の皆様に要望書を手渡し、意見交換をさせていただきました。

石川県庁



山口久雄
石川県商工労働部次長

石川労働局



八木健一
石川労働局長

石川県議会



安居知世
石川県議会議長

グラウンド・ゴルフ大会

• 10月22日(水)〈かほく市高松グラウンド・ゴルフ場〉

この大会は、シルバー人材センター事業を広くお知らせするとともにシルバー会員の健康増進と親睦をはかることを目的に実施している大会です。

大会当日は、県下の各シルバー人材センターから会員や役員、職員あわせて180名が参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。

スコア集計の時間にはクイズ大会が行われ、参加者同士の交流を深めながら、笑顔あふれるひとときを過ごしました。クイズでは、シルバー会員はフレイル（加齢に伴う心身の虚弱）になる可能性が、会員でない人と比べて30%以上低いことも紹介され、健康づくりの大切さを楽しく学ぶ機会にもなりました。

入賞者の皆さんには、林会長から優勝トロフィーと賞品が手渡され、記念撮影をして、無事に終了しました。

本大会を通じて、健康づくりと参加者同士の親睦をさらに深めることができました。

ご参加・ご協力いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。



プレー中の模様



クイズ大会の一コマ



表彰式のシーン



女性の
部

優勝：中村 律子さん (宝達志水町SC)
2位：高井美記子さん (七尾市SC)
3位：大谷美恵子さん (志賀町SC)

男性の
部

優勝：中村伊三男さん (内灘町SC)
2位：藤島 勇啓さん (小松市SC)
3位：武藤 廣行さん (金沢市SC)

第2回県内各センター事務局長会議

• 10月28日(火)〈石川県女性センター〉

林充男会長のあいさつの後、連合会事務局から次の項目について説明し、意見交換を行いました。

説明事項

- (1) 全シ協からのシルバー人材センター事業に関する情報提供
- (2) 労働者派遣事業について
- (3) 高齢者活躍人材確保育成事業について

意見交換

- ・「新たな仲間づくり計画」について



普及啓発促進月間活動

• 10月1日(水)～10月31日(金)



県内のシルバー人材センターでは、10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の期間中に、清掃や草刈り、剪定などのボランティア活動や周知・広報のチラシ・グッズの街頭などでの配布活動など、普及啓発活動を実施しました。

当連合会では、入居ビル屋上から懸垂幕「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間 10月1日～10月31日」を掲示しました。

経理研修会

• 11月27日(木)〈石川県女性センター〉

県内センターの職員と連合会職員合わせて27名が参加して開催されました。午前の部では、連合会から「国庫補助金事務にかかる留意事項について」説明し、その後AグループとBグループにわけてグループ別の意見交換会が行われました。午後の部では、衣呂公認会計士・税理士事務所の氏原謙一様から「新公益法人会計基準及び新たな契約方法の会計処理の現状と問題点」についてご説明いただきました。



グループ別の意見交換会では、より実践的な内容が話し合われ、新契約方法での具体的な仕訳の方法や、月末月初の経理処理などがテーマになっていました。このほか、新契約方法を導入するにあたり、遠方に本社が所在している会社への説明方法やシステムの活用方法などについても話し合われました。



衣呂公認会計士・
税理士事務所
氏原謙一 氏



意見交換会の様子
(上：Aグループ 下：Bグループ)

研修中の場面

運転技能講習

• 11月19日(水)~

労働者派遣事業において、スクールバスや福祉施設等の送迎などの人員輸送業務と、給食配送や広報誌などの物品輸送業務に従事している会員を対象に、事故防止対策の一環として、安全運転のスキル向上と安全意識の啓発のため、平成27年度から本講習を実施し、11年目となりました。

今年度の後期日程では、11月19日の七尾会場を皮切りに、県下3会場で15日間にわたって開催しています。この講習では、受講者が「自動車運転技能自動評価システム（オブジェシステム）」を搭載した車を運転し、その運転の「クセ」などをドライブレコーダーとGPSを使って定量的に測定し、そのデータを基にAからEまでの5段階評価で判定します。受講者一人ひとりに自動車教習指導員から、診断結果の解説と運転技能の改善について、的確なアドバイスがあり、今後の運転業務に大いに活かされる講習となりました。



実地走行により一人ひとりの
運転データを収集
(七尾城登山口駐車場付近)



実地走行では、帽子と右足の靴に、
GPS受信機（○印）を装着
(会場：七尾自動車学校)



オブジェによる診断結果の解説
(会場：東部自動車学校)

安全就業担当職員会議

• 12月15日(月)〈石川県女性センター〉

県内各センターの安全就業担当者と連合会職員合わせて23名が参加し、会員の事故防止に資することを目的に、安全就業担当職員会議を開催しました。グループ討議では、シルバー人材センターの安全就業対策についての現状や課題について、意見交換が行われました。

【内容】

- (1) 県内シルバー人材センターの事故発生状況
- (2) 安全就業パトロール、職場巡視から
- (3) 仕事の発病～その留意点～
- (4) 講演（オンライン）
「会員の安全就業のためセンター職員がやるべきこと」
株式会社ジュトク 長濱 成幸 氏
- (5) グループ討議・意見交換



交通安全大使の子どもたちから安全運転を呼びかけられました

石川県警から交通安全大使に委嘱された津幡町少年相撲教室の子どもたちから当連合会の林充男会長ほかに、相撲の「待った」にちなんだ「5つの待った」が記載された交通安全スローガンのチラシが手渡されました。天候、体調、時刻、場所、距離を考慮し、「5つの待った」で無理をせず安全運転に努めるように呼びかけられました。

当連合会では、この内容を記載した安全ニュースを作成し、会員に周知しました。



林充男会長（上段中央）と交通安全大使の子どもたち

高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）

① 周知・広報

シルバーの周知・広報として、テレビCMのほか、新聞広告、自治体広報誌（珠洲市・金沢市・小松市・加賀市を除く14市町）等での広告を実施しました。

また、金沢、津幡、白山、小松、加賀の各ハローワークにおいて、定期的に出張相談会を実施しました。

このほか、SNSを利用した広報として、X（旧Twitter）による技能講習等の情報を随時発信するとともに、FMいしかわの番組内でシルバーのPRを行いました。

さらに、新たな試みとして女性のためのお仕事相談会と併せて、一昨年の元日に発生した能登半島地震を教訓にした缶詰と乾物で作

る防災食「カンカンセミナー」を県内の4地域で開催しました。

他にも、高齢・障害・求職者支援機構石川支部主催の「令和7年度雇用に役立つ助成金等説明会」に参加して、事業所の人事担当者に対してシルバー事業を周知しました。



テレビCM「遺跡発掘編」



市町広報誌の広告 例:白山市



新聞広告（北國新聞テレビ欄下）
4月



新聞広告（北國新聞テレビ欄下）
10月

② 就業体験の実施

就業体験は、60歳以上で、シルバー会員でない方やシルバー会員で職種転換を希望する方等に対し、シルバー会員、企業等の協力を得て、実際に作業体験や職場見学を実施するものです。

本年、10月末現在で、30人（未会員21人、職種転換希望等の会員9人）に対し、剪定、清掃、球根植付け作業、施設管理等の就業体験を実施しました。このうち、未会員の21人全員が新規入会しました。



ぶどう収穫（かほく市）



エアリーフローラ球根植付け
(宝達志水町)

③ 技能講習の実施

技能講習は、60歳以上で、シルバー会員でない方やシルバー会員で職種転換を希望する方等に対し、必要な技能講習を実施し、入会及び就業の促進をはかっています。



クリーンスタッフ講習（能登町）



剪定スタッフ講習（七尾市）



刈払機取扱い安全講習（小松市）

技能講習の地域別開催状況

※令和7年11月末現在

開催地域		開催回数	受講者数	主な講習名
能登北部地域	珠洲市・輪島市 能登町・穴水町	5回	39人	刈払機取扱い安全講習 クリーンスタッフ講習 門松づくりスタッフ講習
能登中部地域	志賀町・七尾市 中能登町・羽咋市 宝達志水町	4回	39人	刈払機取扱い安全講習 剪定スタッフ講習 調理補助スタッフ講習
石川中央地域	かほく市・津幡町 内灘町・金沢市 野々市市・白山市	5回	64人	刈払機取扱い安全講習 クリーンスタッフ講習
南加賀地域	能美市・小松市 加賀市	3回	43人	刈払機取扱い安全講習 クリーンスタッフ講習
合計		17回	185人	

※能登町で開催予定の「刈払機取扱い安全講習」は、最少催行人員に満たなかったため中止。

④ 連絡会議

令和7年11月12日(水)、金沢港クルーズターミナルにおいて、「高齢者活躍人材確保育成連絡会議」を開催し、シルバー人材センター事業の課題等について、意見交換を行いました。

【出席いただいた機関・団体】

経済団体：石川県中小企業団体中央会

労働者団体：石川県退職者連合

行政機関：石川労働局職業安定部職業対策課、石川県商工労働部労働企画課

センター支援事業（連合会の独自事業）

各センターの要望により、就業中の事故防止対策の一環としての刈払機取扱作業者安全衛生教育講習をはじめ、シルバーの受託事業の主力である業務の、剪定、清掃、建具張替の講習のほか、接遇講習などの開催を支援し、会員のスキルアップを図ります。

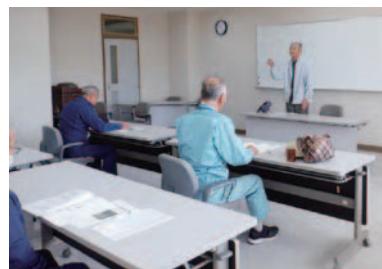
また、従来は会員のみを受講対象としていた刈払機取扱作業者安全衛生教育講習を、前年度から新たに全センターの全職員も受講対象に加えました。

これは、飛び石事故が一向に減少しない現状において、日ごろから会員に接している職員も受講し、専門知識を身に付けることが、今後の安全就業に資すると考えているからであり、多忙な業務の合間に縫って受講しています。

センター支援講習開催状況（会員対象）

※令和7年11月末現在

講習名	開催地区	開催回数	受講者数
刈払機講習	羽咋市・能美市・小松市	3回	5人
剪定講習	穴水町	1回	4人
接遇講習	野々市市・白山市	2回	24人
障子張替講習	野々市市・白山市	2回	11人
計		8回	44人



剪定講習（穴水町）

センター支援講習開催状況（センター職員対象）

※令和7年11月末現在

講習名	開催地区	開催回数	受講者数
刈払機講習	県内全域	随時	5人

衛生委員会 掲示板

牛乳について その9

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会 産業医 井上 一彦



皆様 御変わりなく御元気で御活躍のことと存じます「日本人が牛乳とどう係わってきたか」について書いています。前回は徳川吉宗公の事跡までを書きましたが、今回は江戸後期から明治維新までの日本人と牛乳の係わりについて書きます。

家斉公の元気の素

11代將軍徳川家斉(1773-1841)は歴史学会では高く評価されている訳ではない様ですが、69歳で亡くなるまで50年間征夷大將軍を勤め、多数の妻妾との間に儲けた50名を超える子女の多くを大名家の養子とし、或いは嫁がせた(13代加賀藩主正室となった溶姫は第21女です)平和時のヒーローと言うべき人と思います。家斉公は前述の「白牛酪」を愛用し、侍医に効能に関する本(「白牛酪考」、国会図書館デジタルコレクションで読むことができます)を執筆させているので、御壯健の原動力は牛乳だったのかも知れません。

斉昭公の牛乳瓶

最後の徳川將軍となった慶喜公の父君、9代水戸藩主徳川斉昭公(1800-1860)は庭で乳牛を飼い牛乳を精力剤として愛飲していると自著に記しています。「薬として」というところから脱しきれませんでしたが、新鮮で安全(世の中が物騒になり毒殺の危惧も有ったでしょうから)なものを手軽に入手するというスタイルは高く評価されるべきでしょう。前回書いた盛岡藩は牛乳を竹筒で運びましたが、斉昭公は藩のガラス製造所で作らせた1リットル瓶(水戸市の博物館で観ることができます。透明容器は安全面の配慮とも関係有るのかと思いました。)を用いました。斉昭公は牛乳2,酒2,水3を砂糖で煮るというカクテル(低アルコールで健康に良いかもしれません)も考案しています。

在日外国人向けの牛乳製造

江戸時代初期から長崎出島では乳牛が飼育されており、幕閣がオランダ商館長に食生活について訊ねた記録にも乳製品が出て来ます。

近代の牛乳製造販売に繋がる流れは幕末(1863年)横浜で外国人向けに上総出身の人が6頭の牛から搾乳したと記録されています。調べた限りでは価格の記録は見当たりませんが、「御雇い外国人」の報酬から推測すると高額でも需要は伸びたのではないかでしょうか。

牛乳で富国強兵!!

福沢諭吉は早くも明治3(1870)年に「万病に効く」「不老長寿の実現」「頭も良くなる」と現代なら摘発されそうな紹介をしていますが、同年に東京で牛乳の訪問販売が始まり、次々に複数の業者が参入して生産量が急増したそうです。

榎本武揚、大久保利通、山縣有朋らも搾乳業に係わった(眞の理由は兎も角)ことが知られていますが、富国強兵の為の体質改善に牛乳は良いとされ、政府が国学者に命じて牛乳飲用は日本古來のものである(第51号を御参照下さい)と宣伝したり、マスコミも明治天皇が1日2回牛乳を召し上がるという記事を載せたり、陸軍軍医総監が結核予防効果を説いたりと國を挙げての牛乳飲用増大への努力が窺えます。紅毛人による植民地化を危惧していた当時は、子供達が大谷選手御夫妻の様に育つことが国家目標だったのでしょう。

次回は明治期の日本人と牛乳の係わりについて書きます。

御読み頂きまして誠に有難うございました。

県内の各シルバー人材センターの活動紹介

県内各地域18のシルバー人材センターの様々な活動を紹介します。

① 珠洲市シルバー人材センター

★第18回 グラウンド・ゴルフ大会

9月12日(金)、珠洲市グラウンド・ゴルフ場にて開催されました。

★会員親睦会



11月5日(水)会員親睦会を能登町「ラブロ恋路」にて行いました。

昨年は能登半島地震の影響で、いろいろな行事が中止となりましたが、会員のご要望もあり、恒例のグラウンド・ゴルフ大会と会員親睦会を開催することができました。どちらも参加者は少なかったですが、楽しい良い時間を過ごすことができました。

今後も会員同士の親睦を深める場を提供し、シルバーの輪を広めていきたいです。



② 輪島市シルバー人材センター

★能登復興推進隊 給食配達業務

輪島市中心部から東へ約20キロの位置にある町野町の小中学校は令和6年能登半島地震により給食調理施設が被害をうけ使用できなくなりました。そのため市内中心部にある中学校調理室で作られた給食を町野町の小中学校まで届けるため会員が毎日往復40キロの道のりを給食配達しています。



★普及啓発活動の実施

10月17日(金)普及啓発促進月間の活動として、ボランティア除草作業を市内3カ所で実施しました。会員による奉仕活動は一昨年の震災、水害後からは初めてとなり、会員の多くは応急仮設住宅で生活をしているなかボランティア活動を通して会員間の情報交換をして交流も深まりました。

③ 能登町シルバー人材センター

★シルバーフェスタ「秋の収穫祭」

11月28日(金)、コンセールのとにて「シルバーフェスタ 秋の収穫祭」を開催しました。今回は石川県の復興支援事業とタイアップし、



太平まさひこ氏による「ものまねショー」やハーバリウムのワークショップを実施したほか、輪島市シルバー人材センターにもご協力いただき、大々的に催すことができました。



つきたてのお餅やセンター会員自慢のカレーを振る舞ったほか、会員が心を込めて育てた新鮮野菜やリサイクル品の販売も好評で、会場は大いに賑わいました。

④ 穴水町シルバー人材センター

★いきいき美容教室の開催

女性会員を対象にいきいき美容教室を4月24日(木)に開催しました。女性会員16名が参加し、身だしなみを整え、きれいになることによりフレイル予防につなげ、健康長寿に生きいきとしたメイク方法を学びました。互いの近況など女性だけのひと時を過ごし親睦を深めることができました。今後も女性会員の魅力ある企画を行っていけるよう努めていきます。



★剪定技能講習会

剪定作業員の後継者育成のため、昨年に引き続き令和7年度も県立穴水高等学校及び参加会員のお庭をお借りし10月29日(水)～31日(金)の3日間、講習会を実施しました。講師の先生の話を真摯に受け止め、今後の就業につなげていけるよう真剣に取り組んでいました。

★町内見守りバスの運転

昨年より役場からの依頼で町内の6か所の仮設住宅から市街地を往復する見守りバスの運転業務も引き受けています。買い物や病院への通院など高齢者の足となって頑張っています。利用する方々には大変喜ばれています。

⑤ 志賀町シルバー人材センター

★防草シート張り勉強会

公費解体後の防草シート敷設に補助金が出るようになり、敷設依頼が増える事が想定されたため、10月30日(木)に勉強会を開催しました。講師の手配が出来なかったため、動画を見る方法にて勉強会を行い、更には作業経験のある会員の経験談を踏まえて、意見を交わすことで、学んだ敷設方法を次に生かしたいと、参加した会員は意気込んでいました。



★会員研修バス旅行

11月5日(水)秋晴れの中、バスは福井方面へ。独自事業収益日本一の大野市SCを訪ね、事業の取組み状況を紹介して頂きました。会員からは積極的に質問の手が挙がり大変有意義な研修となりました。その後は恐竜博物館などを巡り、また、バスの中ではゲームが盛り上がるなど会員の親睦が図られました。今後は当センターにおいても新たな独自事業や親睦行事を企画し会員の生きがいづくりに努めています。



⑥ 七尾市シルバー人材センター

★軽食喫茶看板婆（かんばんむすめ）の運営

独自事業の1つとして、喫茶店を運営していましたが、令和6年1月の能登半島地震時に店舗が壊れ営業が出来なくなりました。営業再開が出来たのは、その年の7月、場所を変えての再スタート！新しい店舗は、改修工事を経て当センター内施設でオープンしました。新しいメニューの考案や、集客についてスタッフ一同意見を出し合いながら賑わう喫茶店を目指し日々頑張っております。



★リフォームサークルのファッションショー

年2回のビッグイベント“ふれあいの集い”では、当センターの“リフォームサークル”によるファッションショーが披露されました。この日のために制作した服を纏い、ランウェイを歩く会員さんの姿は本当に美しく、観客を魅了します！

『私もリフォームサークルに入りたい！』と入会の問い合わせが何件ありました。皆さんのが輝ける場、楽しめる場を沢山作って行きたい！今後も張り切って頑張ります。

⑦ 中能登町シルバー人材センター

★シルバーの活動に興味をもってもらうために…

多くの仲間と一緒に楽しく遊び、仲良く交流し、たまにお仕事をする。そんな仲間が集まりやすいイベントを積極的に開催しています。特に女性の明るさと元気を大切にしており、多くの人が興味を

持つてもらえる活動の充実を目指しています。写真は「藤棚を見ながらのランチ会」で、町内で藤の名所となっているお宅をお借りして、ランチとお茶を楽しみました。会員ではない方も5名ほど参加いただき、シルバー会員の入会にもつながっていけば良いと考えて企画しております。



⑧ 羽咋市シルバー人材センター

★ボランティア活動

10月3日(金)、普及啓発促進月間の活動として、清掃ボランティア活動を実施し、ユーフォリア千里浜前の歩道の落ち葉掃除を行いました。会員・職員合わせて33名が参加し、早朝から汗を流しました。

★「シルバーフェスタはくい2025」を開催



今年で15回目となる普及啓発イベント「シルバーフェスタはくい」を11月16日(日)に開催しました。会員自家栽培の新鮮野菜市や焼き芋販売、バザー、ステージショー、キッチンカー、お茶会、無料の健康チェックコーナーなどで会場は大賑わい。今年は七尾市シルバー人材センター様と中能登町シルバー人材センター様が手芸品等を多く出品くださり、大盛況でした。

会員互助会の華道クラブのお花の作品展もあり、来場者にシルバー人材センターの活動をPRできたかと思います。

⑨ 宝達志水町シルバー人材センター

★エアリーフローラの栽培

エアリーフローラの栽培を開始して6年目を迎えます。フラワーネットの調整をしている間に、会員同士で「花芽が上がってきているね♪」と嬉しそうに会話する姿も。毎日の変化にわくわくしている様子です。順調に育てば12月中旬からの出荷になる予定です。今年も綺麗な花を咲かせるぞ～！



★日帰りバス旅行

秋の紅葉を眺めながら、長野県の善光寺まで旅行に行ってきました。りんご狩りではりんごを食べ比べたり、善光寺では参拝や御朱印集め、仲見世での買い物等それぞれに楽しみました。両手にお土産を抱える姿も見られ、とてもにぎやかなバス旅行でした。またどこかへ行きたいね！と次の旅行を楽しみにしている様子でした。

⑩ かほく市シルバー人材センター

★ぶどう収穫と収穫体験会

令和元年度より栽培を続けて
いるブドウ畠で、今年も7月下旬
からブドウの収穫をはじめ、
8月1日(金)には、ブドウ収穫
体験会を実施しました。参加した
方は、収穫の楽しさを存分に
体験いただけたようです。



★ボランティア清掃

11月6日(木)、かほく市七塚中央公園でシ
ルバー会員33名と役職員が参加して、主に落
ち葉拾いを実施しました。当日は天候にも恵
まれ、会員さんたちは和やかな雰囲気の中で
竹ぼうきや箕を使って作業を進め、軽ダンプ
8台分の落ち葉を集め、園内の美化に汗を流
しました。

⑪ 津幡町シルバー人材センター

★普及啓発促進キャンペーン (10/18)

午前7時、会員有志による早朝ボランティア清掃を町内2か所で実施しました。会員は可燃・不燃物に分別し、袋一杯にゴミなど集積した様子。また、2時間後には町内のスーパー・マーケット3か所において、新規会員の募集と拡大を図るため、チラシや普及啓発物品の配布で来場者に呼びかけた。



★交通安全講話と疑似体験 (11/14)

日没が早く、交通事故が多発する時期に津幡署交通課長の交通安全講話と機材を用いた講習で運転に必要な敏捷性や視力・認知機能の確認を実施しました。25名の参加者は安全運転に関する知識を学び交通ルールを再認識した様子でした。

⑫ 内灘町シルバー人材センター

★会員懇親会の開催

10月30日(木)から翌31日(金)にかけて、いこいの村能登半島へ行ってきました。一泊での懇親会は久しぶりでしたが、到着するなりグラウンド・ゴルフを楽しんだり、温泉にゆっくり浸かるなどして、会員思い思いに過ごしました。宴会ではカラオケで盛り上がり、会員職員の親睦を深めることができました。今後も会員の生きがいづくりに努めていきます。



★「がんばろう内灘」チャリティーバザーを開催

昨年に引き続き2回目となるチャリティーバザーを11月14日(金)に開催しました。会員自家栽培野菜や手作り小物、お客様や地域住民の方からご寄付いただいた日用品などを販売しました。当日はたくさんの方にご来場いただき、会場は大賑わいでした。バザーの収益金は内灘町の復興にお役立ていただきます。

⑬ 金沢市シルバー人材センター

★女性対象入会説明会

女性会員の拡大を目的に、女性対象入会説明会を開催しています。

シルバー人材センターの仕組みや入会方法の説明、女性会員による就業体験談の発表を行うほか、詩吟やしの笛の演奏、お抹茶体験など、毎回異なるレクリエーションを取り入れ、参加者にとても好評です。

10月21日(火)の説明会では、連合会の支援もあり、テレビニュースに取り上げていただいたことで大変反響がありました。昨年度の女性会員は、令和5年度比で21人増えており、引き続き、女性会員の拡大に取り組んでいきたいと考えています。



★会員互助会「第9回 グラウンド・ゴルフ大会」

令和3年度から会員互助会では、春と秋に健康維持と親睦融和を目的に「グラウンド・ゴルフ大会」を開催しています。

10月23日(木)開催の第9回大会では61名が参加し、過去最高の参加者数となりました。センター登録会員の中で最高齢となる97歳の方も、とても元気にはつらつとプレーされていたのが印象的でした。今後も、バス旅行や新年会など、互助会の各種活動を盛り上げるべく、事務局も協力していければと思います。

⑭ 野々市市シルバー人材センター

★「広報野々市」特集記事掲載

毎月野々市市内に全戸配布されている「広報野々市」11月号に特集記事が掲載されました。記事では、センターの仕組みや活動内容に加え、現在就業中の会員の

“生の声”も紹介されています。実際に働く会員のリアルな声からシルバー人材センターの魅力ややりがいを感じられる内容となっており、多くの方に興味を持っていただけるのではないかと期待しています。



★合同入会説明会

会員の拡大を目的に、10月20日、合同説明会を開催しました。

当センターでは、これまで随時個別に入会説明を行っていましたが、説明内容の均一化を図り、より気軽に参加していただけるよう、今年度から試験的に月に2～3回の「合同説明会」形式へと変更しました。合同にしたことで、友達同士や80歳超の方の参加も増えました。

今後も、合同説明会は、月に2～3回の開催を予定しています。

⑮ 白山市シルバー人材センター

★ボランティア活動の実施

シルバー人材センター普及啓発促進月間の一環として、シルバー事務所付近の道路沿いの街路樹の除草作業を行いました。早朝の作業でしたが多数の会員が参加し、街路樹付近の草がなくなりとてもきれいになりました。



★白山市福祉健康まつりに 出展

毎年開催されます白山市福祉健康まつりに出展し、会員募集・仕事募集を行いました。また、英字新聞で作ったエコバッグに普及啓発物品（ポケットティッシュ、チラシ等）を入れて来場者に配布し大変好評を得ていました。

その他、会員の活動写真（就業風景、ボランティア）も展示しました。

⑯ 能美市シルバー人材センター

★感謝祭

今年度も日頃のご愛顧に感謝する「センター合併20周年記念 感謝祭」を11月16日(日)に開催しました。独自事業で生産している加賀丸いも、国造ゆず、家庭菜園で会員が丹精した野菜などを持ち寄り、また子ども達の餅つきの体験、つきたて餅や特製タオルの無料配布が大人気で、市屋内競技施設「すばーく寺井」は、満杯の大盛況でした。



★普及啓発活動

10月の普及啓発促進月間に合わせて、女性を主なターゲットとした普及啓発を市内スーパー・マケット3ヶ所で行っています。用意したチラシや販促グッズも瞬く間に品切れとなりました。



⑰ 小松市シルバー人材センター

★正月用しめ飾りの製作販売

当センターの独自事業として取組む「正月用しめ飾り」の製作販売は、今年度で40年目を迎えます。製作する会員も高齢のため後継会員が不足する中、しめ縄編み体験会を開催し、新たに3名の会員が加わり製作を進めています。8月に青田刈りした藁を丁寧に手作りで製作し、玄関用丸し

め飾りや神棚用一文字飾りを製作し、合計で約600個を販売予定です。



★会員互助会「日帰りバス旅行」

会員互助会の親睦行事として、11月6日に秋の日帰りバス旅行を開催しました。当日は晴天に恵まれる中、白山麓巡りとして昆虫館やトレインパーク白山などを見学し、会員同士の親睦と仕事の合間のひと時を楽しく過ごしました。



★スマホ講習会の開催

会員のスマホ利用拡大を目指し、毎月1回使い方講習会を開催しています。内容として初級編と防災編があり、防災編では夏場の熱中症警戒アラートや情報を確認できるよう学んでいます。



また、今年度から、新契約方式へ移行し、会員への連絡ツールとして「smile to smile」の活用は重要であり、スマホの活用や取扱いが不慣れな方へ受講を進めています。

⑱ 加賀市シルバー人材センター

★地域共生社会推進全国サミットinかがへの協力

市主催の「地域共生社会推進全国サミットinかが」が11月20日・21日に全国から約800人が参加し開催されました。当センターも地域共生社会を推進する一員として、大会の運営に協力しました。会員が駐車場整理に従事したほか、会場内の案内や参加者のもてなしにボランティアで参加しました。市内団体のPRブースでは当センターの活動をPRする「パネル展示」を行い、シルバー事業を参加者に説明しました。



★シルバー元気まつりの開催

地域貢献活動として「シルバー元気まつり」を毎年開催しています。昨年に続き、市が主催する「KAGA健康フェスティ2025」と共催で11月8日(土)に開催しました。多くの方が来場する中、元気市の新鮮野菜、レストランさくらの手作りお惣菜、役員で作ったつきたて餅、地元水産会社の協力で解禁間もないズワイガニ・香箱ガニを販売し、当センターをPRしました。



あたらしい私
はじまる



シルバー人材センター

お問い合わせは、お住まいの地域のシルバー人材センターへ。ホームページはこちらからご覧ください。▶

高齢者活躍人材確保育成事業



公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

〒920-0862 金沢市芳斎1丁目15-15 TEL(076)222-4680 FAX(076)222-4681

ホームページ: <https://ishikawa-silver.com>

「シルバー連合会いしかわ」は、石川県シルバー人材センター連合会のホームページからもご覧いただけます。